

## 令和4年度事務事業の事後評価結果と改善策

令和4年度の事務事業の事後評価結果と改善策について、次のとおり決定します。  
ただし、令和6年度に行う改善策については、令和6年度の予算編成の中で決定します。

### 1. 令和4年度事後評価概要

令和5年6月から8月にかけて、令和4年度に人件費および事業費等の経費を要した事業のうち、第四次総合計画に位置付けている施策に紐づく事務事業182件について、担当部課による事後評価を行いました。事務事業の評価結果の概要は、次のとおりです。

※令和4年度からスタートした「第四次総合計画」に合わせて事務事業を見直し、細分化していた事務事業を集約しています。(参考：令和3年度事務事業数 941件)

事務事業の総合的な評価	件数
順調	110件
ほぼ順調	69件
順調とはいえない	3件
事後評価実施件数	182件

事後評価における今後の方向性	件数
現状通り推進する	176件
事業内容を見直す	4件
事業を拡大する	1件
事業を縮小する	1件
事後評価実施件数	182件

※総合的な評価と今後の方向性の相関

		事業の方向性				
		現状通り推進する	事業内容を見直す	事業を拡大する	事業を縮小する	
総合的な評価	順調	107	3	—	—	110
	ほぼ順調	67	—	1	1	69
	順調とはいえない	2	1	—	—	3
		176	4	1	1	182件

## 2. 事後評価結果に基づく改善の方向性

今後の方向性として、改善を要する（事業内容を見直す・事業を拡大する・事業を縮小する）と評価した事務事業は、次の6件です。

1	事業名	障害者の社会参加・自立支援	担当部課	健康福祉部 障害者支援課 障害者福祉センター	
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。</li> <li>・障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。</li> </ul>			
	総合的な評価／コメント	ほぼ順調	障害者に対し、日常生活訓練や運動機能訓練を通して活動の拡充を図ることができました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を縮小する	障害者福祉センターは、今後施設の利用を終了することに向け、利用者、ボランティア団体、当事者団体等に対し、活動場所の提供等の支援を行い、調整を図ります。		

2	事業名	障害者の一般就労に関する相談・支援の実施	担当部課	健康福祉部 障害者支援課 障害者福祉センター (障害者就労支援センター)	
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者を雇用する事業者を支援し、障害者の雇用を促進していきます。</li> <li>・障害のある人がそれぞれの能力や特性に応じて安定して働き続けられるよう、就労に関する個別相談や定着のための支援などを実施するとともに、事業者や社会福祉法人などの関係機関と連携し、就労支援体制を強化します。</li> </ul>			
	総合的な評価／コメント	ほぼ順調	就労に関する個別相談や就労定着支援、会議の開催等を行い、関係機関と連携強化を図りながら支援しました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	今後も、特別支援学校や就労移行支援事業所、相談支援事業所等の関係機関と連携をとりながら事業を進めていきます。 また、障害者の雇用を促進するために、チャレンジドオフィスあびこを開設します。		

3	事業名	発達支援が必要な子どもの早期発見	担当部課	子ども部 子ども相談課 こども発達センター
	事務事業の目的・概要	発達に支援が必要な子どもを育てる家庭において重要な保護者の「気づき」を促し、発達特性や障害への理解の促進と親子の愛着関係を育めるように家族への支援を行うとともに、発達に支援が必要な子どもの早期発見につながる取組を進めます。		
	総合的な評価／コメント	順調	発達に支援が必要な子どもと障害のある子どもを早期発見し、早期療育につなげ、子どもの発達を促し、保護者が安心して子育てができるように支援することができた。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	ライフダイアリーは、すべての子どもがいつどの時点で支援が必要になるかわからないため、平成28年度より全戸配布となっています。しかし、その活用率が低いことから、療育・教育システム連絡会ライフダイアリー部会にて配布対象の見直しを検討しています。	

4	事業名	就労支援・雇用環境の充実	担当部課	環境経済部 企業立地推進課
	事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「我孫子市地域職業相談室」において、求人情報を提供するとともに職業相談などの支援を行います。</li> <li>・働きやすい職場づくりを事業者に促すとともに、雇用環境の充実を図る事業者に対して支援を行います。</li> </ul>		
	総合的な評価／コメント	順調	労政施策全体として、事業者・市民の要望に応えることができた。	
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	コロナ禍の影響も有り、目標値には及ばなかったが、地域職業相談室に関しては、通年で一定の利用者を確保できた。今後は、より利用しやすくなるよう対策を講じていくことが必要となる。障害者雇用促進奨励金及び障害者職場実習奨励金については、本制度が雇用機会の拡大に繋がっていないという側面もあるため。制度の見直しも含め、関係課と協議・連携し、より障害者の就労に繋がる施策を検討していく。	

5	事業名	住居に関する相談・支援		担当部課	都市部 建築住宅課
	事務事業の目的・概要	誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全・形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用促進を図ります。			
	総合的な評価／コメント	順調	すべての事業について概ね適切な事業の実施に努めることができたと考えます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	若い世代の住宅取得支援事業については、効果を検証し、事業の廃止を含めて検討していきます。		

6	事業名	教職員資質向上推進事業		担当部課	教育総務部 教育相談センター
	事務事業の目的・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。			
	総合的な評価／コメント	順調とはいえない	教職員の資質向上のために、論文作成を求めるのではなく、もっと効果的な方法、事業を考える必要がある。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	教職員の資質向上を図るためには、論文作成より、副読本の「わたしたちの我孫子」、学習図鑑の「ふるさと手賀沼」をどのように活用し、指導の工夫や模擬授業を行うなどして教員への研修を実施する方がより効果的と考える。		